

# センサー、分析法、毒性試験、 水処理法の開発と環境分野への応用



大学院理工学研究部(理学)  
教授 倉光 英樹

## 研究のキーワード

環境分析(水質分析、土壌分析)、センサー開発、水処理法開発、電極、光ファイバー、腐植物質

## 研究の内容

電極や光ファイバーを利用した、化学センサー、バイオセンサー、イムノアッセイ、毒性試験の開発に多くの実績があります。また、環境水質分析と土壌分析(有機成分の定性・定量、窒素・リンなどの栄養塩類の定量、重金属の定量、元素分析など)による環境モニタリング。さらに、汚染物質を水中から取り除くための、吸着剤や分解法の開発も行っています。研究室に設置している各種分析機器は様々な共同研究の実施に使用可能です。

## 産学連携・特許

## 科研費等外部資金

平成29-32年度 基盤研究B「近赤外SPRを利用した電気化学-光ファイバーセンサーの開発と環境分析への応用」(代表)

平成29-32年度 基盤研究A「酸化触媒反応による抗生物質及び抗菌剤の分解と抗菌活性に及ぼす腐植物質の影響」(分担)

## その他、社会貢献・受賞など

2016年 日本分析化学会 常任幹事

2015年 日本腐植物質学会 Humic Substances Research編集委員

## 研究の概要図

